

## 〈総合芸術としての絵本〉を考える —絵本の構造と可能性—



ボランティアとして子どもたちに絵本を読むとき  
どのように本を選んでいきますか？

何を读もうかと読む相手のことばかり気になり、  
案外、自分の目で「絵本」を見る・読むことがおろ  
そかになっていないでしょうか。

全3回の講義とワークショップを通して、絵本とは  
どういうものであるかを学び、〈自分の目〉で〈絵本を  
しっかりと見る・読みこむ〉という作業をします。

絵本を見る目を養い、その奥深さを知ることで、自信  
を持って絵本選びができるようになるでしょう。



講師：正置友子氏

（元聖和大学教授）

1973 年千里ニュータウンに  
て青山文庫を開設。イギリス  
に留学し、ヴィクトリア時代  
の絵本の研究で、博士号を取  
得。イギリス「子どもの本歴史  
協会」より、ハーベイ・ダート  
ン賞受賞。2009 年より絵本学  
研究所を主宰。

主著：『おかあさん、ごはんと  
本とどっちがすき』ほか「絵  
本の散歩道」シリーズ（創元  
社）全 5 巻。

- 日時 平成 26 年  
7 月 31 日(木) 8 月 7 日(木) 8 月 21 日(木)  
いずれも 午後 2～4 時
- 場所 南図書館 3 階 集会室 2
- 対象 堺市内で子どもの読書に関わる活動をしている  
ボランティアで、3 回とも参加できる方
- 定員 50 人
- 参加費 無料
- 申込 7 月 10 日(木) 午前 10 時より  
来館または電話で（先着順受付）

\*保育はありません  
\*車での来館はできません

問い合わせ  
堺市立南図書館  
電話 (072) 294-0123